

4月13日(土)

13時30分～17時 **資料代1000円**

会場: **港区立男女平等参画センター
(リーブラ)・学習室C**

東京都港区芝浦 1-16-1 みなとパーク芝浦 2階
TEL:03-3456-4149、JR 田町駅東口(徒歩 5分)、
都営浅草線・三田線三田駅 A6 出口(徒歩 6分)



* 記念講演前の11時半～12時半、当NPO法人の第13回総会を行います

◎ **記念講演** (13時30分開始、13時開場)

飯田市平和祈念館で起きていることー731部隊の史実と証言をどう伝えるか

講師: **原 英章 (はら ひであき) さん**

(飯田市平和祈念館を考える会事務局長、平岡ダムの歴史を残す会代表、飯田市歴史研究所調査研究員)

〔原英章さんからのメッセージ〕

2022年にオープンした飯田市平和祈念館には、地元出身の 731 部隊の元隊員がひそかに持ち帰った医療器具や医学書が展示されている。

しかし、市教委が731部隊についての説明や元隊員らの証言のパネルの展示を「見送った」ために、「731部隊の遺留品」という歴史的な価値や意義が見学者に伝わっていない。

私たちは「飯田市平和祈念館を考える会」を立ち上げ、731 部隊についての史実や元隊員の証言を展示するよう市民による運動を進めてきた。

その中で市長提案による多様な市民からの意見を聞くための「飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会」ができ、今も議論を進めている。

公立の施設という困難さのある中で、731部隊の史実と証言を伝えていく意義を市民運動によって広めるとともに、行政も合意できるような方策を模索している現状を報告したい。



731 部隊員が持ち帰った医療器具や医学書
(飯田市平和祈念館の展示)

コメンテーター

轟莉莉 (ニエ・リリ) さん
(東京女子大学名誉教授)

《 著 書 》

- ・『「知識分子」の思想的転換ー建国初期の潘光旦、費孝通とその周囲』(風響社、2015)
- ・『中国民衆の戦争記憶ー日本軍の細菌戦による傷跡』(明石書店、2006)



中国からの発言

王選 (ワン・ツェン) さん
(細菌戦犠牲者遺族、
当センターの中国人
共同代表)

《 発 言 》

「中国の現状報告と日本人への熱い期待」



731部隊問題関連裁判の裁判日程

* 皆さんの法廷傍聴を是非お願いします!!

- ・衛生学校記事 情報公開裁判【東京高裁第7民事部】5月16日(木)11時(101号法廷) 控訴審第1回
- ・化学学校記事 情報公開裁判【東京地裁民事第3部】5月20日(月)11時(522号法廷) 第29回

主催: **NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター**

2024.3.22

共同代表 **近藤昭二** [ジャーナリスト]・**王選** [細菌戦犠牲者遺族、義烏市第二次大戦細菌戦問題研究センター主任]・**奈須重雄**[731部隊研究者]

◆お問い合わせ: **一瀬法律事務所**: 東京都港区西新橋 1-21-5/ Email: info@ichinoselaw.com 担当永元(もとなが)・一瀬(いちのせ)
Tel:03-3501-5558 Fax:03-3501-5565 /◆ Website: <http://www.anti731saikinsen.net/>